

# かながわ学生福祉防災大会

## (神奈川県大学生・高校生連携大会)

主催：特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク

【かながわ学生福祉防災大会】 近年の自然災害の頻発は予想をはるかに超え予知の難しさを浮き彫りにしています。神奈川県におきましても例外ではないことは共通認識となっています。県内の学生が一堂に会して、防災・福祉を考え、共に神奈川県のために防災力の向上を目指しましょう。実践に基づくお二方の先生の講演をお聞きし皆様の自由な意見を語り合い、次につなげていきましょう。

開催日時 2017年11月25日(土)

10:00~17:30(受付開始9:30~)

開催会場：かながわ県民センター 11階 講義室

開催内容 講演：

「大学生・高校生の災害ボランティアについて」 鬼頭浩文先生 四日市大学教授

「震災を語り継ぐ～避難所運営の実際～」 斉藤幸男先生 東北大学特任教授

事例発表 ① 大学生による災害被災地支援活動報告(熊本、阿蘇市)

② 高校生による災害被災地支援活動報告(宮城、石巻、東松島など)

グループワーク ① 福祉防災について意見交換 情報の共有化を図る 情報発信

② 連携と神奈川の防災について(平時からの学生活動など)

参加対象者 大学生(専門、短大含む)・高校生・(引率含む)

参加費・資料代 1,000円(親睦会費含む 18:00~19:30)

申し込み・連絡先：「福祉防災大会参加申し込み」と記載し、氏名、学校名、学年、連絡

先電話、メールアドレス、など記載し下記にメールもしくはFAXにてお申し込み下さい。

受付後事務局より参加承諾のメールを差上げます。【申し込み締め切り11月15日】

担当事務局：やまと災害 市原 〒242-0021 神奈川県大和市中央6-12-19-205

Email: [ysv0401@yahoo.co.jp](mailto:ysv0401@yahoo.co.jp) FAX: 046-261-1956 連絡先090-9349-5410

### 【共催、後援、協力】

共催：一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク

後援：神奈川県共同募金会・神奈川県建築安全協会・

協力：神奈川県教育委員会・神奈川県社会福祉協議会

かながわ県民活動サポートセンター・他

協力：神奈川県内各大学ボランティア推進担当

主催：特定非営利活動法人 神奈川県災害ボランティアネットワーク

(構成団体：市町村他 31団体 ・個人2名)



この事業は、災害時などの学生協力連携などを目指し、神奈川県内の防災活動強化プロジェクト推進事業です。

# かながわ学生防災福祉大会

(神奈川大学生・高校生連携大会)

主催:特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク



- 開催スケジュール (多少時間変更有)
    - 9:30～受付開始
    - 10:00～福祉防災大会開催
      - 主催者ご挨拶(趣旨説明)
      - 学生テーブルにて自己紹介
    - 10:20～講演① 鬼頭先生
    - 11:20～講演② 齋藤先生
    - 12:20～質疑応答
    - 12:30～昼食 (各自にてお願い致します。)
    - 13:15～学生による被災地活動報告
      - 宮城県活動報告 熊本県活動報告
    - 14:30～テーブルワーク①
      - 福祉と防災について
      - 情報の共有について 情報発信
    - 16:00～テーブルワーク②
      - 学生連携と、継続的な活動について
      - 平時からの学生活動などについて
    - 17:00～福祉防災宣言
      - 大学生代表 高校生代表
    - 17:05～総評
      - 齋藤先生 鬼頭先生
    - 17:25～閉会あいさつ
      - 主催者
    - 17:30 閉会
- 別会場へ移動願います。
- 親睦会 (当日ご案内します。)
- 18:00～親睦会開始
  - 19:30 終了



## 【講演講師ご紹介】

### ・齋藤幸男 先生

東北大学 教育・学生支援部特任教授

前宮城県石巻西高等学校長

昭和29年宮城県塩釜市に生まれる。

2011年3月11日に東日本大震災が発生したとき

石巻西高等学校の教頭として避難所運営にあたる。

当時の石巻西高校は正式な指定避難所ではなかったが、人道的な立場から教職員だけで44日間の避難所運営を行った。体育館が最大約700名の遺体仮安置所・検視所となり、校舎を開放して約400名の地域住民の避難生活を支援した。さらに、在校生9名と新入生2名の計11名の生徒が震災の犠牲になるなかで、教職員は生徒に寄り添い続け、生徒はともに支え合いながら学校の教育活動を再開していった。2012年に同校の校長になり、震災の教訓を語り継ぐ活動を通して「いのちと向き合う教育」の大切さを訴えている。

平成28年度から東北大学の特任教授として勤務し、各地での講演会や研修会などを通して実践的な防災力を身につけた人材の育成にあたっている。防災教育を「いのちと向き合う教育」の切り口として考え、自尊感情を育みながら自分の役割を自覚し、日本の将来をになう高い志をもった人間を育成しようと奔走している。震災後は、県内だけでなく北海道、東京都、神奈川県、埼玉県、石川県、長野県、静岡県、三重県、和歌山県、京都府、大阪府、兵庫県、山口県、愛媛県、福岡県などで講演会や研修会を行い、平成29年度からは避難所運営ワークショップを通して防災の実践力を高めながら「いのちをつなぐ教育」を全国に広める活動を行っている。

### ・鬼頭浩文 先生

四日市大学総合政策学部教授・学部長

四日市東日本大震災支援の会代表

YUMEプロジェクト代表

1962年名古屋生まれ。名古屋大学経済学部、同大学院を修了後、四日市大学の教員に。

主な研究テーマは環境と防災。四日市公害や中国の大気汚染に関する研究をしている。2011年4月に学生とともに四日市東日本大震災支援の会を立ち上げ、今までに49回、延べ1600人を超えるボランティアを被災地に送った。

また、四日市市と連携して防災に機能を限定した学生消防団を2016年1月に設立して災害時に避難所と災害ボラセンの運営にあたる仕組みを構築、三重県とは広域防災拠点で物資の荷捌きを高校生・大学生が担う仕組みの構築をしようとしている。